

「地域課題分野」(平成23年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
由良川河口地形の動態とその制御法に関する研究 (研究期間：H23年～H25年)	明石工業高等専門学校 教授 神田 佳一	B
<研究概要> 本研究では、由良川河口部の地形変動について、過去の水文・地形データの整理と現地観測結果から、河川流量や冬季波浪との関連において経年的特性を抽出して砂州の動態を把握した。さらに、模型実験や河床変動モデルを用いた数値解析によりそれらを検証し、洪水や波浪による砂州の変形及び発達特性を明らかにするとともに、水制等の構造物による効果的な河岸防御法や砂州の撤去も含めた河口地形の新しい維持管理手法を提案した。		
<事後評価コメント> 河口閉塞とその制御法に対して、砂州の動態特性や対策工の効果の把握については一定の成果があったと評価できる。 しかしながら、出水と冬季波浪という繰り返しの中での砂州の形成メカニズムの解明や、数値解析の再現性についての検討は必ずしも十分でない。温暖化による影響も踏まえて今後どのように管理していくかという視点も含め、今後更なる研究の発展を期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い